

令和5年度の学校給食費について（諮問事項）

1、諮問の主旨

信濃町の学校給食費は、平成26年度以降の主食価格の上昇額、消費者物価指数の動向を考慮し、令和2年度に一律15円増額の改定がされました。

主食及び牛乳の価格は年々上昇傾向にあります。副食材料の購入について、月2回の食材見積りの実施や地元生産者の御協力により、食材費の価格上昇をできる限り抑えて運営しております。しかし、近年のコロナウイルス感染症等の影響で食用油や調味料は価格上昇が続き、給食費を圧迫する要因のひとつとなっています。

安心安全でおいしい給食を安定的に供給するため、毎日使用する主食（米・パン）及び牛乳の給食費改定年度以降の価格動向等を加味した結果をもとに給食費15円値上げの諮問をいたしております。

2、給食費増額の要因

①主食（パン・麺）及び牛乳の価格上昇

お米は、地元生産者に御協力いただき令和4年産米についても据置きで納品いただいておりますが、肥料等の価格高騰により来年以降については上がる可能性もあります。また、パン及び牛乳については、原料や燃料費の高騰等の理由により年々上昇傾向にあります。主食及び牛乳の価格上昇が続くことにより副食で使用できる食材費を圧迫しています。

②一般物資の価格上昇

一般物資については、新型コロナウイルス感染症の影響により年々上昇傾向にあります。調理用油や調味料類は今年4月と9月を比較して1.5倍以上になっている物資もあり、今後も更に値上がりするという情報も入っています。

③摂取基準への対応

学校給食法の改正により変更された摂取基準への対応をしなければなりません。物価高騰により給食で使用できる食材が限られてしまうことで摂取基準を満たすことが困難になり、子どもたちへ十分な栄養を提供できません。

3、給食費増額による給食の改良点

①子どもたちの要望

現在も子どもたちの要望を取り入れるようにしていますが、使用する食材の単価によっては、要望に応えることが困難となっています。（イカめしやナンなど）

増額により子どもたちの要望を更に取り入れることができ、より充実した学校給食を提供する事ができます。

②地場産品の使用

長野県は県産県消（地産地消）を推進しており、信濃町も道の駅しなのやファームかずと等から信濃町産の食材を納品いただいております。

しかし、業者見積をした際の単価により納品する食材が県外産となることもあり

ます。食材によっては納品時に傷みがあり、除去の手間や除去をしたことにより規定量に達しないこともあります。

少し価格が高くても品質の良い食材や県内産の食材を使用し、子どもたちへ提供することにより、食育へつながると考えられます。

4、食材費の比較（令和2年度対比）

▼主食（米飯：週4回 パン：週1回 めん類：月1回程度）及び牛乳

（令和2年度との比較）

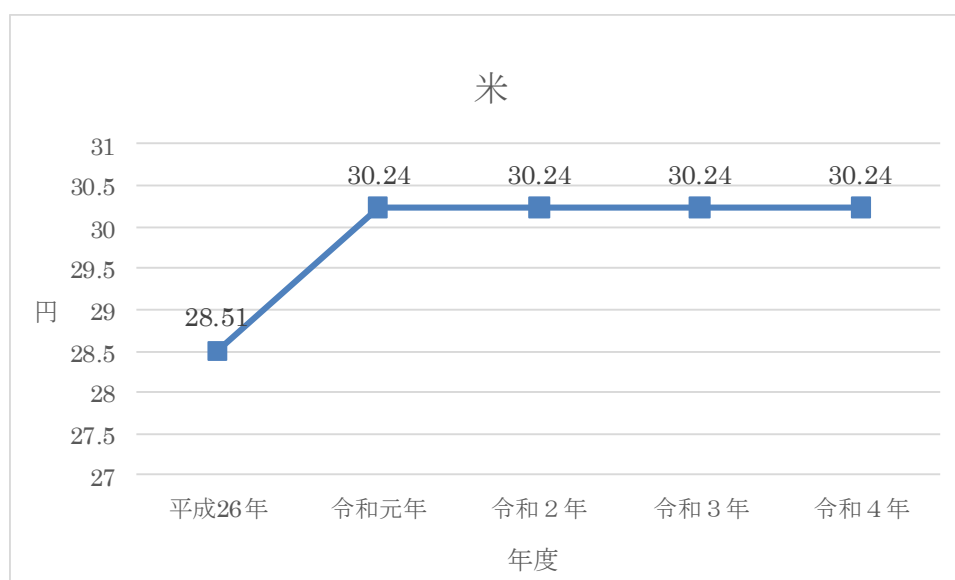
種類	R 2	R 4	差額	上昇率
米※1	30.24	30.24	0	0
パン※2	59.22	67.62	8.4	114.1
麺※3	60.72	72.60	11.88	119.5
牛乳※4	57.59	61.29	3.7	106.4

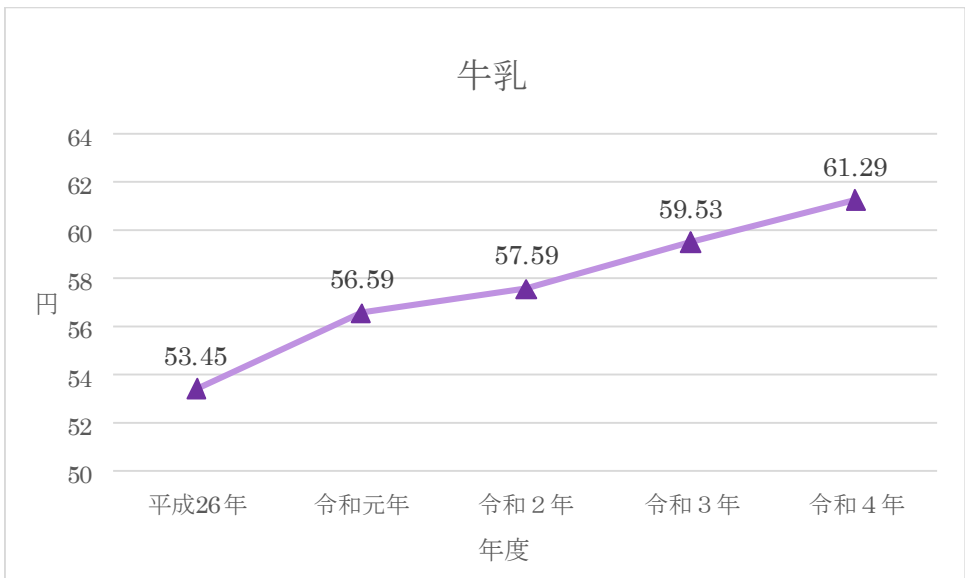
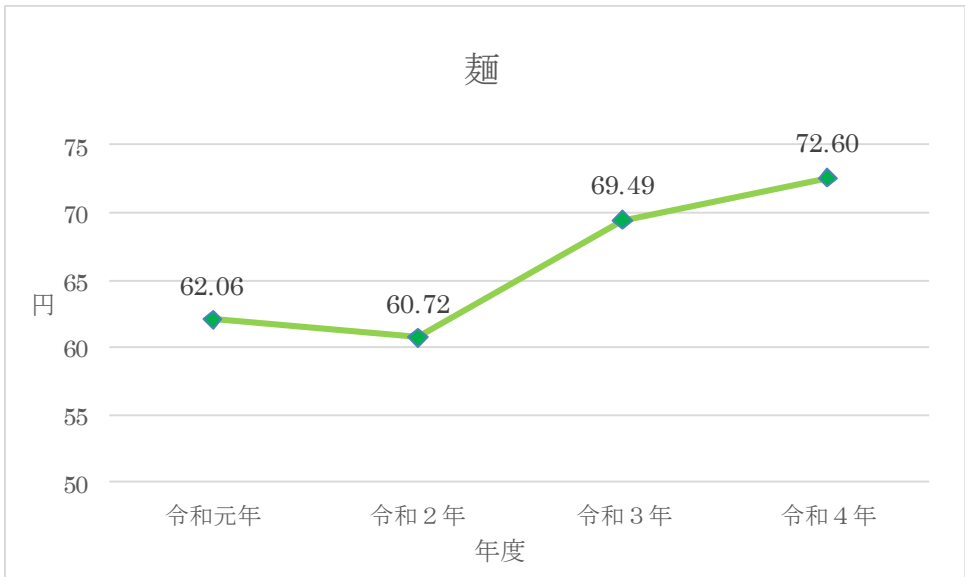
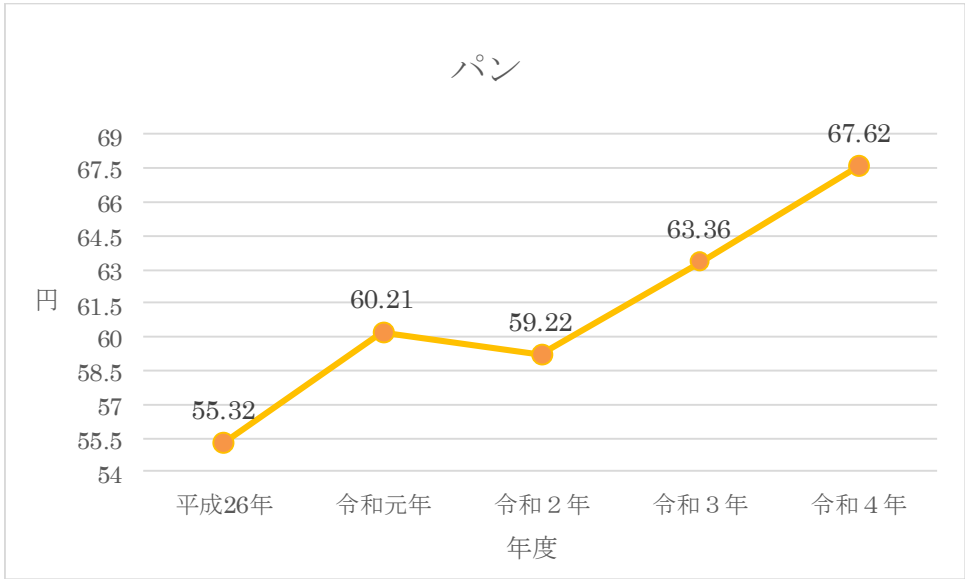
※1…1人当たり80gの税込価格

※2…1人当たり税込平均価格（6～11月平均）

※3…1人当たり税込価格（6～11月平均）

※4…1人1本あたり税込価格





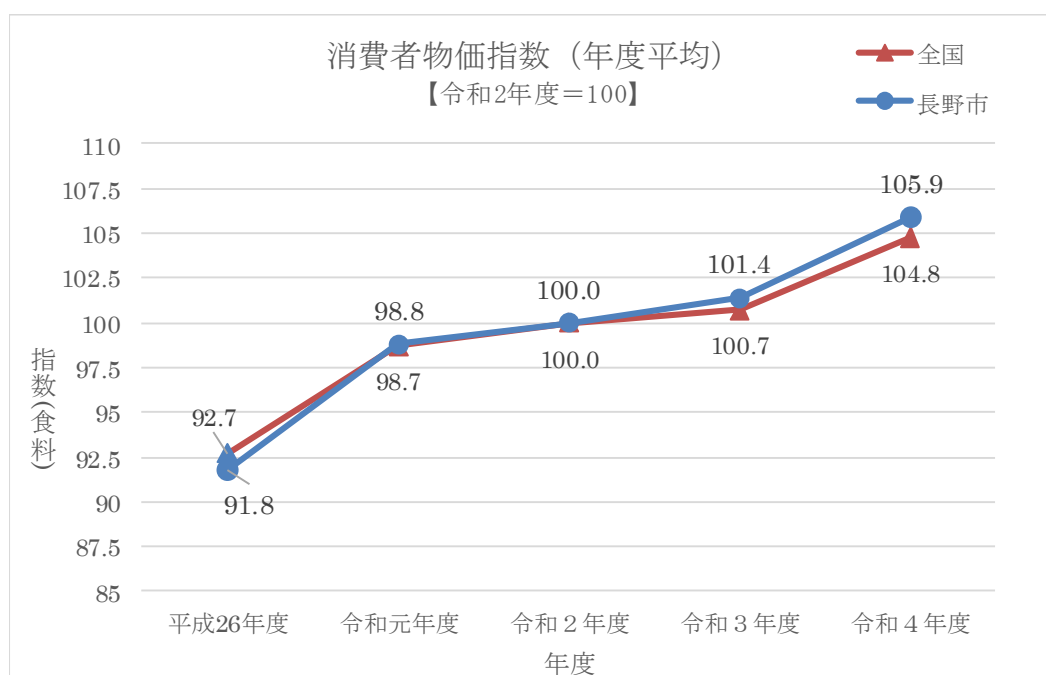
▼副食について

肉や魚については、様々な情勢を反映し価格が上昇傾向にあります。前回の改訂年度以降、児童及び生徒へ提供する量が増えていることから全体的に価格も上がっています。

野菜については、例年、冬季になると価格が上昇傾向にあり、給食費を圧迫する要因の一つに挙げられます。夏の天候不順等による収穫量の減少などが価格上昇の原因の一つです。

また、長野県全体で地産地消（県産県消）を推進する考え方から、長野県産を基本とする食材の調達、できる限り信濃町産の食材を使用していきたいと考えておりますが、業者見積による納品のため、県外産のものを使用している場合があります。

参照 長野市消費者物価指数（食料） 105.9（4～11月平均）



5、給食費改定の考え方

前途のとおり、近年の食材価格は上昇しており、今後も更なる上昇が予想されます。

これまで、主食・牛乳の増額分を低価格の食材の使用や献立の工夫などにより吸収してきましたが、近年の価格の上昇や学校給食摂取基準の改定でエネルギー等の基準値が増加されたことにもしっかりと対応する必要があります。

令和2年からの消費者物価指数の上昇による今後の主食・牛乳・副食代の上昇を見込んだ単価による試算は次の通りになります。

A：主食

①R 2年度からのR 4年度の各上昇額 (P.2 参照)

・米：0円 ・パン：8.4円 ・麺：11.88円

②1か月の給食を20食(米飯15+パン4+麺1)で試算

米(0円×15食)+パン(8.4円×4食)+麺(11.88円×1食)=45.48円

45.48円 ÷ 20食 ≒ 2.27円 (1食あたりの値上げ)

B：牛乳 (P.2 参照) 3.7円 (1食あたりの値上げ)

C：副食

①R 2年度の副食費に食材値上がり分(長野市消費者物価指数)を乗じて計算

196.37円(※b) × 5.9% = 11.58円 (1食あたりの値上げ)

A) 2.27円 + B) 3.7円 + C) 11.58円 = 17.55円

※a：現行給食費

1～3年生：270円 4～6年生：285円 7～9年生：315円

平均価格(270円+285円+315円) ÷ 3 = 290円

※b：R 2年度1食あたりの価格/人

主食・牛乳分) 主食36.04円+牛乳57.59円=93.63円

副食分) 290円-93.63円=196.37円

以上の試算から**17.55円の値上げが必要**と考えます。保護者の負担にも十分配慮する必要があるため、今後も献立を工夫するなど努力を継続することで、次表のとおり改定していきたいと考えております。

改定額案(1食単価)

区分	H26	R2	R 5.4～	増加額 (円)	増加率 (%)
1～3年生	255	270	285	15	5.6
4～6年生	270	285	300	15	5.3
7～9年生	300	315	330	15	4.8

■学校給食費の検討資料

消費者物価指数年度平均（食料・長野市）と主食・牛乳の動向（税込価格）

	消費者物価指数(食料) (R2年度=100)	精米(10kg) (円)	パン (円) (4~12月平均)	牛乳 1本(円)
H26年度	91.8	(3,780) 3,564	55.32	53.45
H27年度	93.6	3,564	58.06	54.98
H28年度	94.9	(3,564) 3,672	59.06	53.71
H29年度	95.7	(3,672) 3,780	58.38	54.45
H30年度	96.7	3,780	59.44	55.23
R1年度	98.8	3,780	60.21	56.59
R2年度	100.0	3,780	59.32	57.59
R3年度	101.4	3,780	63.38	59.53
R4年度	105.9	3,780	(67.62)	61.29

※平成26・28・29年度欄のカッコ内は10月までの単価 ※令和4年度欄のカッコ内は11月までの平均

県平均の1食当りの給食費(長野県教育委員会調)

(単位:円)

	小 学 校			中 学 校	備 考
	低 学 年	中 学 年	高 学 年		
平成24年度	259	262	265	306	
平成25年度	259	262	265	305	
平成26年度	267	270	273	313	
平成27年度	270	273	277	319	
平成28年度	270	274	277	320	
平成29年度	271	274	278	321	
平成30年度	271	275	278	321	
令和元年度	275	278	281	325	
令和2年度	276	280	285	327	
令和3年度	276	279	282	325	

信濃町の給食費の推移

(単位：円)

	小学校低学年	小学校高学年	中学校
昭和63年～平成2年度	185	200	225
平成3年～平成8年度	205	220	245
平成9年～平成10年度	220	235	265
平成11年～平成18年度	235	250	280
平成19年～平成25年度	245	260	290
平成26年～令和元年度	255	270	300
令和2年～	270	285	315

食数の推移 (単位：人)

年度	人数	人数の増減 (前年度対比)
平成23年度	752	
平成24年度	714	△38
平成25年度	709	△5
平成26年度	705	△4
平成27年度	694	△11
平成28年度	660	△34
平成29年度	636	△24
平成30年度	610	△26
令和元年度	566	△44
令和2年度	538	△28
令和3年度	532	△6
令和4年度	494	△38
令和5年度 (予定)	470	△24

※ 給食費に含まれていない経費（全額町負担）令和4年度当初予算88,060千円

- ・調理員の人件費
- ・配送等に係る車両の経費
- ・電気・ガス・水道などの光熱水費、ボイラーの燃料費
- ・施設、機械器具の維持管理費
- ・給食センター大規模改修工事費

ほか